

# ブンカツ!

BUNKATSUI!

## 文化系部活動体験記

2010年度最後のブンカツ!は、宮崎学園短大の漫画研究会を訪れた。待ち合わせた同短大図書館で待っていてくれたのは、西丸由華さん11人間文化学科1年11から3人のメンバー。先日2年生が卒業し、現在の部員は1年生の10人。今回、3人は春休み中にもかかわらず集まってくれた。活動は毎週月、木曜日の放課後。部室などで漫画やイラスト、小説を書いたりしているそうだ。皆黙々と作業をこなしているのかと思いきや、「アニメや漫画

宮崎学園短大

### 漫画研究会



宮崎学園短大漫画研究会のメンバー

## 好きな作品語り合う

の新作が出るとその話題などで盛り上がります。面白い話してとても楽しい雰囲気ですよ」（西丸さん）という。

サークルの魅力聞いてみると、「共通の趣味の人たちとつながりができるのがいいですね」と梶谷明日香さん11同。小守広華さん11同は「一つの作品でも皆それぞれ違ういろんな思いを持っている」と語る。

毎年10月の学園祭では、皆で製作した小説やイラストをまとめた冊子を販売。昨年の作品を見せてもらっ

たけど、イラストなどは細かい所まですごく丁寧に描かれていて、本当に好きなんだなと感心。中にはコスプレヤーもいるそうで、学園祭でも「マクロス」といった人気アニメやゲームのキャラクターに変身したメンバーもいたそうだ。

部室に案内してもらった。細長い部屋の壁に本棚があり、漫画の雑誌や単行本、ライトノベルや同人誌などが置かれている。サークルとしては25年以上の歴史を誇るだけあって、中には先輩が残したと思われる昔懐かしい作品も。小学生の時にはまったものがあって、取材も忘れてつい目を輝かせてしまった。

最近の流行を聞くと、女性の間でも少年誌、特に週刊少年ジャンプの作品が人気だそうだ。ちなみに、3人に好きな作品を聞くと、西丸さんと梶谷さんは「（人気作家）CLAMPの作品」、小守さんは「鋼の錬金術師」を挙げてくれた。

好きな作品の話をしている時の3人は、とても楽しそう。1人が熟っぽく語っているのを2人が興味深そうに聞いていて、「同じ趣味を持った仲間が語り合っていて本当にいいなあ」としみみ感じた。

数年前まで女子短大だったこともあってか、現在のメンバーは女性のみ。なので、男性が入ってくればという声も。ディープな世界に浸ってみたい同短大の男子学生がいたら、ぜひ部室の扉をたたいてみては？



部室で漫画を読みながら好きなキャラクターの話題などで盛り上がる。とても楽しそうな雰囲気だ